

平成 29 年 4 月 15 日 (土)

クロスペンアカデミー講演会

4月15日(土)午前10時から伊那文化会館大ホールで、クロスペンアカデミー開校式の後、画家の大森祥吾先生(高18回卒)の「信州の自然と風景画」と題する講演会を開催しました。生徒・職員のほか、保護者23名、同窓会8名、一般の方6名が聴講しました。

聴講した生徒の感想の一部を紹介します。

「デッサンは描く訓練ではなく見る訓練だ」ということを大森先生がおっしゃったのが印象に残っています。私は正直美術に関しては全くわかりませんでしたが、ただ描くということではなく、深い意味があるのだなあと思いました。また、お話の中で「人とのつながり」についても話されていました。これは美術に限らず、私たちが生きていく上でも大切なことだと思いました。私たちはこれから出会う人たちの方が圧倒的に多いと思います。一人ひとりとのつながりを大切にしていきたいです。



